

からむしの里

昭和村



川魚や山菜好きが集まる
料理自慢の温泉宿

分科会会場:昭和村
 宿泊場所:昭和温泉 しらかば荘
 〒968-0102
 福島県大沼郡昭和村大字野尻字廻り戸1178
 募集定員:20名
 現地経費:13,000円
 ●17日(土)／昼食費 1,500円
 宿泊費 5,500円(朝食込み)
 夕食交流会 5,000円
 ●18日(日)／昼食費 1,000円



からむし織とカスミノウの里「昭和村」

～昭和へ帰ろう～

内容紹介

昭和村は、福島県の会津地方に位置し、四季折々に美しく変化する豊かな自然と日本の懐かしい原風景が残るむらです。本村では、古くから途絶えることなく綿々と受け継がれてきた本州唯一の「からむし」を地域おこしに平成6年から「からむし織体験生事業」を開始し、100名超の体験生を全国から迎え、約3割が定住しています。また、夏秋季の生産量が日本一の「宿根カスミノウ」では、栽培農家の高齢化が進む現状を踏まえ、インターンシップ形式での研修生受け入れ「かすみの学校」を開始し、近年1ターンでの就農者が着実に増加しています。

参加者の皆さんと語り合いながら、進めたいと考えておりますので、ぜひ昭和村へお越しください。

手から手へ受け継がれて来たからむしに触れ、語り合みましょう

1日目は、広い福島県を感じてもらいながら分科会会場まで移動となります。宿泊施設「昭和温泉しらかば荘」での夕食交流会では、地域の食材を使った料理とお酒などをお楽しみいただきながら、日頃の地域づくり活動について語り合い、交流を深めたいと思います。
 2日目は、築80年の木造廃校舎を改修した「喰丸小」をご覧ください。加えて、カスミノウ新規就農者やからむし織体験生事業で本村に定住しているOGとの意見交換会を行い、地方移住に対する課題などについて一緒に考えます。

【カスミノウ】ナデシコ科の植物で夏秋季の生産量が日本一。従来の白い花以外にも七色に着色した染めかすみや加工品も作られています。
 【喰丸小】2013年公開の映画「ハーメルン」の舞台となった築80年の木造廃校舎。改修に際しては、クラウドファンディングを活用し、この春公開となりました。



分科会スケジュール 全体会場から分科会会場までバスでご案内します。

11/17 土曜日	12:20 全体会場出発	13:00 いわき市 ワンダーファームで昼食	18:00 分科会開所式・交流会	20:30 夜なべ談義 自由参加、※参加費別途	
11/18 日曜日	8:30 宿泊施設出発	9:00 喰丸小見学 ・施設見学・かすみ草 新規就農者との意見交換会	10:30 道の駅からむし織の里 しょうわ見学 ・体験 ・意見交換会	13:00 道の駅からむし織の里 しょうわ出発	14:30 JR新白河駅にて解散



お問い合わせ先
昭和分科会

〒968-0103 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652

TEL.0241-57-2111

担当 総務課
五十嵐

FAX.0241-57-3044 mail:soumukikaku@vill.showa.fukushima.jp